

花器(基本形) 1



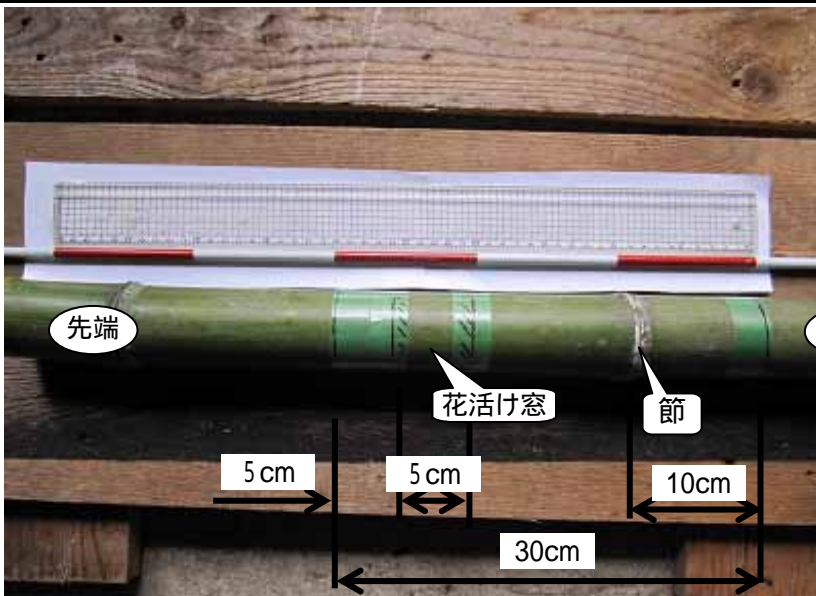
一輪挿しの基本形

青竹を使って作る  
一輪挿しの基本形です



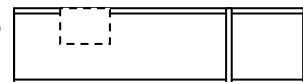
材料

直径5~10cmまでの  
青竹を使います  
マダケ、ハッコクなど  
節の間が長く  
肉厚の薄い竹が良



花器の大きさを  
決める

- ・切り離し位置  
節下10cm  
節上20cm
- ・花活け窓位置  
切断位置から  
5cm下に5cmの  
大きさ



長さは目安です  
作り手の好みで..

粘着テープを巻いて  
位置を書き込みます

花器(基本形) 2



花活け窓の切込み  
竹半分より少し  
少な目の切れ目を入れます  
位置きめの際  
切込み深さを明示  
しておくこと

あわせて、両端も  
切り離します



切り離し完了  
次に、花活け窓を  
開けます



ノミ、ドライバーなどで  
窓部分の竹を割る  
ノコの際より少し  
残して割るのがコツ

割ったあとが  
ささくれているても  
大丈夫

無理をしないで  
割って…

花器(基本形) 3



割った後を成形する

先に入れたノコの際までナイフで削って成形します



表面の完成

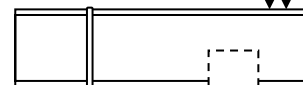
次に裏面の釘穴を作ります



活け窓の上の裏側に釘穴を開ける

まず、穴の位置に3mmドリルで先穴を開けます  
10mm間隔で2穴

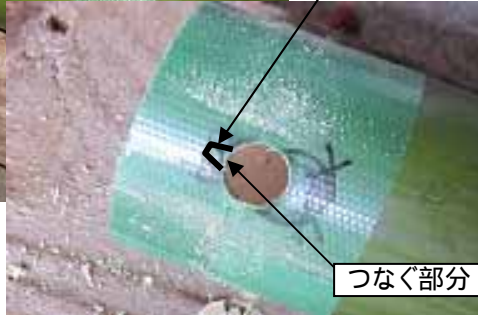
この辺に2穴



花器(基本形) 4



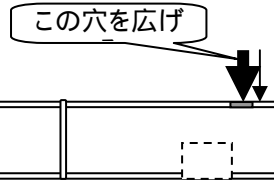
上の下穴



つなぐ部分

2つ穴の下の方を  
木工ドリルで広げる

下の方の下穴を  
木工ドリル  
(12~15mm)で広げ  
ます  
次に、上の下穴と  
下の大きな穴を  
ノコとナイフでつなぎ  
ます



完成

すべてのテープを  
外して完成です

長さ、太さ  
穴・節の位置など  
変えれば、様々な  
パターンで作れます